

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 2 月 23 日 (2012.2.23)

【公開番号】特開 2011-1407 (P2011-1407A)

【公開日】平成 23 年 1 月 6 日 (2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-001

【出願番号】特願 2009-143675 (P2009-143675)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 J 3/20 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 101/00

C 0 8 J 3/20 C E Z Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 1 月 11 日 (2012.1.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂 1 0 0 質量部に対し、(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂 1 0 ~ 1 5 0 質量部、(C) 熱安定剤 0 . 0 1 ~ 1 質量部を含有する成分からなる芳香族ポリカーボネート樹脂組成物の製造方法であって、

(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂として、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂の見かけ密度に対して 8 0 ~ 1 1 0 % の見かけ密度を有する芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂を用い、

(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂及び、(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂の少なくとも一方に、粉碎品を用い、

前記成分を溶融混練することを特徴とする芳香族ポリカーボネート樹脂組成物の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

すなわち、上述の目的は、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂 1 0 0 質量部に対し、(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂 1 0 ~ 1 5 0 質量部、(C) 熱安定剤 0 . 0 1 ~ 1 質量部を含有する成分からなる芳香族ポリカーボネート樹脂組成物の製造方法であって、(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂として、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂の見かけ密度に対して 8 0 ~ 1 1 0 % の見かけ密度を有する芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂を用い、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂及び、(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂の少なくとも一方に、粉碎品を用い、これらの成分を溶融混練することを特徴とする芳香族ポリカーボネート樹脂組成物の製造方法によって達成される。